

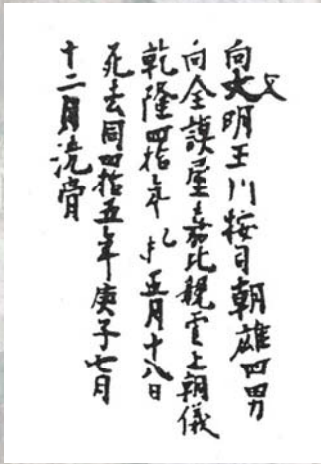


銘書



屋嘉比朝寄の厨子甕

高さ：58cm 口径：30.5cm
胴径：39cm 底径：25cm



【翻刻】

向文明玉川按司朝雄四男
向全諱屋嘉比親雲上朝儀
乾隆四拾年乙未正月十八日
死去同四拾五年庚子七月
十二日洗骨

チエックポイント!

下の銘書と名前を見比べると一見別人のように見えます。しかし、「向全諱」という名前が共通しているので同一人物であることがわかります。つまり、朝寄は晩年に「朝儀」と改名していたことになりま。

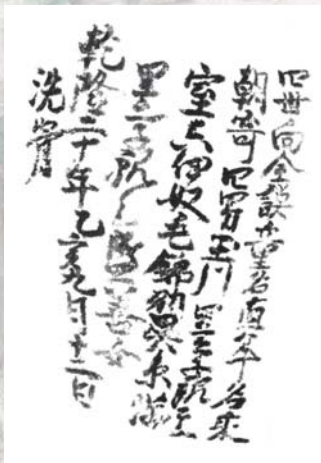
【現代語訳】

玉川按司朝雄（向文明）の四男である屋嘉比親雲上朝儀（向全諱）は、1775年（乾隆40）1月18日に亡くなり、1780年（乾隆45）年7月12日に洗骨されました



真伊奴の厨子甕

高さ：47cm 口径：23cm
胴径：32cm 底径：21cm



【翻刻】

四世向全諱童名真牛名乗
朝寄四男玉川里之子親雲上
室真伊奴毛錦翼糸満
里之子親雲上盛善女
乾隆二十年乙亥九月十二日
洗骨

チエックポイント!

朝寄の妻・真伊奴は護佐丸を始祖に持つ首里の名門士族毛氏糸満家の出身で、家譜から1721年の生まれとわかりました。また、洗骨は通常死後3～7年後に行われるので、30歳前後で亡くなったと考えられます。

【現代語訳】

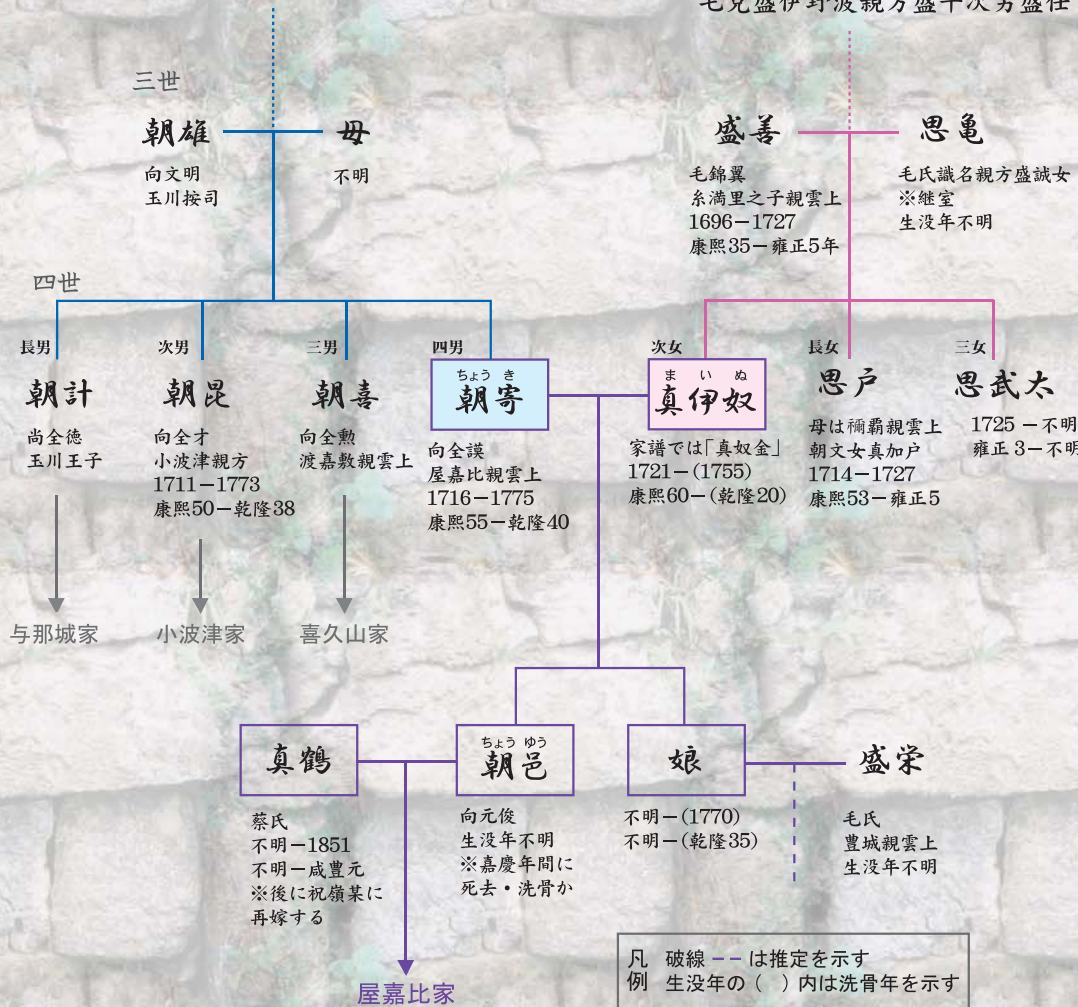
四世で四男の玉川里之子親雲上朝寄（向全諱・童名真牛）の妻である真伊奴は糸満里之子親雲上盛善（毛錦翼）の娘で1755年（乾隆20）9月12日に洗骨されました



系図の復元

元祖：尚弘善宜野湾王子朝義

元祖：毛国鼎中城按司護佐丸盛春八世
毛克盛伊野波親方盛平次男盛任



浦添市教育委員会の調査によって、屋嘉比朝寄の妻とその子供達の存在が明らかになりました。また理由は不明ですが、朝寄が晩年に「朝儀」と改名していた可能性があります。以上の調査成果は、屋嘉比朝寄の人生や人物像を解明するための重要な手がかりとなるものです。また今回の調査成果は、家譜が現存しない場合でも、厨子甕に記された銘書などから家系図を復元することのできた良い例です。厨子甕は貴重な歴史資料であり、後世に伝えるべき文化財です。